

地球温暖化とエネルギー

- 持続可能な社会に向けた衡平な負担 -

資料編

資料編目次

1. エネルギー問題、地球温暖化問題を取り巻く背景	23
1.1 前置き	23
1.2 これまでの取り組み経緯	25
1.3 エネルギー消費、CO ₂ 排出量の現状、見通し	27
1.4 エネルギー価格の推移	30
1.5 地球温暖化問題の位置づけ	32
1.6 各国のエネルギー政策、環境政策に見る主要テーマ	36
2. 一次エネルギー源の確保	39
2.1 エネルギー開発における国際協調の推進	39
2.2 原子力開発に関する議論の深化	43
2.3 再生可能エネルギー導入の拡大	48
2.4 バイオマスエネルギーの持続可能な導入	56
3. エネルギー変換	61
3.1 水素エネルギー技術の研究開発	61
3.2 クリーン・コール・テクノロジーの開発・導入	63
4. エネルギー輸送	65
4.1 途上国エネルギー輸送インフラの整備	65
4.2 国際エネルギー輸送インフラの強化	67
4.3 エネルギー輸送技術に関する技術開発の推進	69
5. エネルギー利用	70
5.1 省エネルギーの推進（政策）	70
5.2 省エネルギーの推進（製品）	73
5.3 省エネルギーの推進（プロセス）	78
5.4 省エネルギーの推進（社会インフラ整備）	82
5.5 省エネルギーの推進（国民生活）	85
6. 環境対策	87
6.1 途上国における従来型環境問題の対策の強化	87
6.2 二酸化炭素回収・貯留技術に関する位置づけの明確化、技術開発等の推進	90
6.3 エネルギー起源 CO ₂ 以外の温室効果ガスの削減	92

7. 横断的事項	95
7.1 環境保全における外部不経済の内部化.....	95
7.2 各国の特性に応じたエネルギー技術の導入.....	99
7.3 エネルギー環境教育の推進と新たな学問領域、学問体系の整備.....	102
7.4 エネルギー統計の整備.....	105
7.5 気候予測・観測技術の体制の強化.....	107
7.6 ポスト京都議定書の目標設定の在り方の議論の深化.....	109
7.7 エネルギー関連技術研究開発予算の適正配分.....	113